

委員会調査(研修)報告書

NO.

令和 8年 4月 27日

胎内市議会議長

八幡元弘様

(報告者)

総務文教常任委員会

委員長 笥智也

総務文教常任委員会閉会中所管事務調査 について、
議会会議規則第110条により、下記のとおり報告します。

調査・研修 日時	自 令和 8年 4月 21日 至 令和 年 月 日 泊 日 (1日間)	調査・研修 場所	・ 全員協議会室 ・ 総合グラウンド多目的運動場
調査・研修 事項	地域おこし協力隊(5名)との意見交換 総合グラウンド多目的運動場について		
調査・研修 出席者(参加者)	委員長 笥智也 副委員長 坂上清一 丸山孝博 渡辺宏行 天木義人 渡辺栄六 小野徳重 佐藤武志 羽田野孝子 渡辺雅茂		
相手方(対応者)	総合政策課：井上課長 斎藤係長 地域おこし協力隊：重田爽歌 椎谷陽一 小川悠樹 竹林莉菜 田島智明 生涯学習課：佐久間課長 河内参事 高山主事		

調査の結果または概要

はじめに、全員協議会室にて、地域おこし協力隊5名と意見交換を行った。

任期3年という時間の中で、「ヨソモノ」目線で地域の良さを発見し、地域住民と共有することで、地域の誇りを醸成するという目的を持ち、それぞれのフィールドで活動されている。

着任からまだ1年経過していない隊員や、残りの任期がひと月を切っている隊員もあり、以前から多かった山間地域での活動を主とする隊員、市内全域で活動する隊員、学生の移動範囲を中心に活動する隊員など、近年、山間地域以外での活動を主とする隊員が増えたことは、今後の隊員誘致への選択肢増を考えるととても良いことと感じた。

次に、今年度から供用開始となった総合グラウンド多目的運動場を現地視察した。

2,360㎡の面積でアスファルト舗装されており、バスケットボールコートラインが引かれ、移動式のバスケットゴールが2基設置されている。元はクレーのテニスコートがあった場所で、「スケートボードができる場所を整備してほしい」といった要望が寄せられていたことから本施設の整備が行われた。バスケットゴールを含んだ事業費は3,386万7,900円で、うちスポーツ振興くじ助成金が1,339万6,000円であった。

初回のみ利用申し込みが必要で、利用時間は午前8時30分から日没までとなっており、視察日時点の登録者数は33人であった。

調査の所見・感想

地域おこし協力隊での任期3年で結果を出すことはやはり難しいようで、目的達成のロングスパン化を考慮して、任期終了後も地域やミッションに関わりたいという声が多かったことはとても頼もしいと感じた。

「ヨソモノ」の目で感じる胎内市の良いところ・悪いところを質問された際には、総じて胎内市民の人の良さを口にしてくれていた。地域おこし協力隊という知名度がそれなりにあるが故、活動がしやすいといった声もあった。悪いところとしては山間地域の隊員からは雪の多さやサルの恐怖など、自然に対する悩みの声があった。特にサルについては子どもたちの通学時においても、市として何かしら対応すべき事項ではないかと感じた。他には交通面の悪さを指摘する声もあり、公共交通機関の少なさも課題の一つと捉えられた。

想いを持って活動いただくことで地域になじみ、人の良さも相まって地域を好きになってくれていることが意見交換の中ではっきりと感ずることができた。今後もミッションの達成に向け務めていただくとともに、情報発信にも尽力いただくことを願う。

総合グラウンド多目的運動場の整備については、昨年以降雪前にはほぼ完成していたものの供用開始が今春となったが、要望の「子どもたちのために」という声に対応したことは良いことと感じる。

視察した日にも学校帰りの中学生が複数人利用しており、感想を聞くと「自由に使える場所ができてうれしい」とのことであった。

多くの市民に利用される場所となることを願う。